



JR東労組八王子地本 第26回定期委員会

2025年2月22日開催

委員会宣言

委員会宣言 ~~←案→~~

本日、JR東労組八王子地本は第26回定期委員会を八王子支部会議室にて開催した。

昨年4月に発生した「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」において組合員に発令された不当処分・不当転勤を撤回すべく、簡易苦情処理と新体制になり初めてとなる苦情処理、団体交渉と労使議論を重ねてきた。しかし会社は処分の撤回はしないという怒りしかない回答をしてきた。この間地本主催にて開催した団体交渉報告集会には、八王子地本管内だけでなく全国から仲間が結集し絶対に許さないという想いのもと意思統一を図ってきた。そして若き組合員が「自らが抑止力になる」という強い決意のもと個人訴訟に立ち上がった。不当処分・不当転勤撤回に向けて全組合員で裁判支援闘争を闘い抜いていこう！

日々私たちの働き度は高まっている。融合と連携を合言葉に1人の社員がいくつもの担務を担い、現在も必要な箇所に必要な要員が配置されない職場実態となっている。職場では休日出勤が月数回にも及び、現場からは絶えず悲痛な声が聞こえている。職場を集約化されることで今後も融合と連携という言葉で誤魔化され、一人ひとりの業務量は確実に増えていくことが明らかである。だからこそ安全・健康・ゆとりをもって働くために私たちは声を上げていこう！

2025JR総連春闘は「定期昇給の完全実施」「ベア要求15,000円(物価上昇、生活向上分を含む)」などの方針を堂々と掲げてたたかいをつくり出している。インバウンドも過去最高となっており、年末年始輸送ではコロナ前を上回る業績を達成した。これは職場で奮闘する組合員の努力の成果である。私たちは2025JR総連春闘を統一要求・統一闘争方針のもと、労働組合の存在意義を最大限発揮させ、働く全ての仲間の生活向上を全面に訴え、春闘勝利に向けより一層の団結を深めていこう！

3月のダイヤ改正より、統括センターの再編や中央快速線グリーン車の営業運転が行われる。しかし開始直前にもかかわらず課題は山積している。私たちは労働組合として施策に対し検証を行い、安全・安定輸送を全組合員で担っていこう！

今年は戦後から80年、JR羽越本線脱線事故とJR福知山線脱線事故から20年の節目となる。私たちが現地に立ち歴史を学んだ事を活かし、再度悲劇を繰り返さないためにも継続して学習し実践をしていく。9条連をはじめとした平和を希求する仲間の連帯を広げ、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指そう！

今年は「新生JR東労組運動宣言」を掲げてから5年となる。これまでのあらゆる組織破壊攻撃にも屈することなく闘い抜いてきた教訓を再度とらえ返し、サークル活動やレクを通じた仲間づくり、「私にとってのJR東労組」を確立して、組織強化・拡大を目指していこうではないか！！

以上、宣言する。

2025年2月22日
東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部
第26回定期委員会

2025JR総連春闘勝利と、不当処分・不当転勤の撤回に向けて、八王子地本は全組合員の運動を創るぞ！